

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 学校教育目標「輝く命 生きる力」
- 学校研究課題「読解力向上」のための効果的な授業改善についての研究を行う。
 ＜令和2年度研究主題＞
 身につけた知識及び技能を活用し、論理的に思考・表現できる生徒の育成
 ～「主体的・対話的で深い学び」を通して～

4月

学力向上目標①

さいたま市学習状況調査における、国語「読むこと」・数学「資料の活用」において、平均正答率を前年度より3ポイント向上させた値にする。

＜目標達成に向けた学力向上策＞

策1

『PISA型読解力の向上』に重点をおき、教科横断的な視点を踏まえた授業を実践する。

開始期日

6月中

具体的な手立て

- ・ 講師を招き、研修会を開催する。
- ・ 各教科でタブレット型コンピュータを活用した授業を実践し、「必要な情報を取捨選択すること」「複数の情報の関係をわかりやすく整理・比較すること」「得られた情報をわかりやすく発信・伝達すること」を通して、生徒の情報活用能力の育成に努める。

8月

策2

＜全国学力・学習状況調査結果分析後＞

開始期日

具体的な手立て

2月

本年度の振り返り

達成度

%

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

4月 学力向上目標②

「よい授業」アンケートを基にして教員個々が指導上の課題を把握し、授業力向上に向けて目標設定を行う。特に、因子2（基礎アップ）、因子4（児童生徒の活動）について、校内平均が市平均より1ポイント以上上回ることを目指す。

＜目標達成に向けた学力向上策＞

策1

因子2（基礎アップ）、因子4（児童生徒の活動）を意識した授業を実践する。

開始期日

6月中

具体的な手立て

- 「よい授業」アンケートの項目を活かしたチェックリストを作成し、教員が相互に授業を見合う機会を設定する。
- 『PISA型読解力の向上』に重点をおき、教科横断的な視点を踏まえた授業を実践する。

8月

策2

〈全国学力・学習状況調査結果分析後〉

開始期日

具体的な手立て

2月

本年度の振り返り

達成度

%

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント